

「歌舞伎鑑賞教室」感想文

2年 ICA組 女子

今回、初めて南座へ行って歌舞伎を見ました。今まで歌舞伎に対して、はっきりとしたイメージはありませんでしたが、実際に本物の歌舞伎を見て、素直におもしろいなあと思いました。話の内容も分かりやすく、解説などもあってとても理解しやすかったです。

「釣女」という話に出てきた恵比寿様の役をした小さな男の子にとても驚きました。みんな小さい子でも、長い台詞や踊りを覚えて立派に舞台に立っていてすごいなあと感心しました。役を演じていた人達は、動作や顔の表情で心情を表現していて、表情が豊かだなあとと思いました。

今回の歌舞伎鑑賞教室で、今まで持っていた堅苦しいイメージはなくなりました。むしろ私たちのような十代の高校生にも理解でき、おもしろいものだということが分かりました。とてもよかったです。

2年 ICA組 女子

4月26日、2年 ICコースのみんなで河原町近くにある南座というところに歌舞伎を見に行きました。

私は歌舞伎を見に行くのは初めてで、この日を楽しみにしていました。

舞台がすごく広くてびっくりしました。役者さんたちの踊りもきれいで尊敬しました。私も将来舞台に立つ事が夢なのでとても興味深かったです。舞台での体の見せ方とか、私のしているものとは全く違うけれど、参考にできたらいいなと思いました。

歌舞伎は本当に日本らしくてホストファミリー見てほしいなと思いました。

学校から歌舞伎を見に行くことができるなんて貴重な体験だと思います。とても楽しかったです。また家族でもこういう日本の文化に触れる体験をしたいと思いました。

2年 ICB組 女子

私は今日、生まれてはじめて歌舞伎を見ました。本当は歌舞伎というものがどういうものかよく分かりませんでした。しかし、今日の歌舞伎を見てすごく新鮮だったし驚きました。とても派手な衣装を着た役者さん達が声をはって、体をつかって物語を進めていたのでステージから遠くてもどのような物語か理解することができました。このような日本文化が昔から今まで受け継がれていることはとても大切なことで、これからも次は私達の世代が受け継ぎ守っていかなければならないと思いました。歌舞伎だけではなく狂言、落語などといった日本特有の文化があり、それを授業の中で体験できて本当にいい経験ができました。英語を通してこの日本の素晴らしい文化を外国の人にも伝えてあげたいです。

2年 ICB組 女子

昨日、南座へ歌舞伎を見に行きました。初めて歌舞伎を見て思ったことがいくつかあります。1つ目は、思っていたより話を理解できたことです。一つ一つていねいに司会者みたいな人が説明していたのでいろんな歌舞伎の仕組みが分かりました。

次は思っていたより歌舞伎を演じることはとても大変だと思いました。歩くだけでもすごく大変だし、ステージを動かすのもぴったり合わせないといけないので歌舞伎をやっている人は本当にすごいと思いました。

最後に歌舞伎はおもしろいと思いました。みんな鑑賞している間、笑顔になっているのを見て歌舞伎の力はすごいなと思いました。こんなことは歌舞伎にしかできないと思うととても誇らしく思います。

歌舞伎は日本のすばらしい文化だと思いました。たくさんの人々に知ってもらいたいです。

2年 ICB組 男子

「歌舞伎なんて別に見ても何もおもしろくないやん。」僕は始めそう思っていました。そもそも歌舞伎というものに興味がありませんでした。でも終わってみると、おもしろかつたという言葉しか言っていませんでした。その理由は歌舞伎の前説や普段の古典の授業で習っていることにありました。もし、これらの説明がない状態で歌舞伎を見ていたら全くおもしろみを感じなかっただと思います。正直、古典の授業がこんなに役立つ日が来るとは思っていなかったので歌舞伎と古典の関連性にびっくりしました。そして一生でもう一度でいいから歌舞伎を見たいと思ったし、そのために古典の勉強も頑張りたいと思いました。今回の体験がこれからの生活に役立つかは分からぬけど、少なくとも古典には活かしたいし、この体験を忘れたくないです。